

「シャロンの花」同窓会報 第28号

2025年3月1日発行



＜2025年度総会・懇親会のお知らせ＞

日時5月17日(土) 総会 午後2時～(受付1時30分～)

懇親会午後3時～(受付2時30分～)

場所 ロイヤルパインズホテル千葉

千葉市中央区中央1丁目11-1

TEL043-306-6322

会費 8,000円(当日受付にてお支払いください。)

懇親会だけの出席も大歓迎です。恩師の先生方も多数ご出席いただいております。本年は昭和59年卒第36回生の皆さんが幹事団を組んで取り組みますが、卒業生はどなたでも参加できますので、お誘い合わせの上ご来場ください。お問合せ・お申込みは、4月30日までに同窓会事務局TEL 043-226-7008

kbepu@ba.wakwak.com

LINEビジネスアカウント@143wzqst

LINEビジネスアカウントQRコード

QRコードから「友だち追加」→



ロイヤルパインズホテル千葉



発行者 千葉県立千葉東高等学校同窓会 会長 山中 操

編集部 千葉県立千葉東高等学校同窓会 事務所 千葉市稲毛区轟町1-18-52

令和6年度 同窓会総会の開催



＜総会＞

令和6年5月18日に三井ガーデンホテル千葉にて総会・懇親会が行われました。

内容につきましては、

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 名誉会長挨拶
4. 本年度転退職・新任の先生及び新年度幹事紹介
5. 出席教職員(卒業生の本校職員を含む)の紹介、
6. 議題
 - (1) 第1号議案 令和5年度事業報告
 - (2) 第2号議案 令和5年度決算報告・監査報告
 - (3) 第3号議案 令和6年度事業計画(案)
 - (4) 第4号議案 令和6年度事業予算(案)
7. 閉会の辞

＜令和5年度事業報告＞

1. 令和5年度の総会・懇親会。
2. 同窓会報「シャロンの花」第27号発行。
3. 「シャロンの花奨学金」の贈呈。
4. 部活動支援金の贈呈。

＜令和6年度事業計画＞

1. 総会 令和6年5月18日(土)
三井ガーデンホテル千葉
2. 同窓会報発行・令和7年3月1日
「シャロンの花」第28号発行
3. 同窓会・恩師対外発表会等参加支援・顕彰活動
4. 同窓会維持基金、創立100周年祈念90周年記念 事業基金等募金活動
5. 母校教育活動の後援、学校行事参加活動
 - (1) 部活動(関東大会以上出場等)支援
 - (2) 対外 発表会等参観・支援
 - (3) 進路学習支援
 - (4) 海外研修引率者支援
 - (5) 卒業式、入学式、体育祭、東雲祭等行事参列・参観等
 - (6) 「シャロンの花奨学金」
 - (7) その他母校支援に該当する案件
6. 支部発足支援活動
7. その他目的達成に必要な事業
8. 常任理事会(原則隔月第三土曜日開催)
昨年度の事業報告・決算報告、今年度の事業計画案・予算案が審議されいずれも承認されました。

(2023/04/01～2024/03/31)

令和6年度 同窓会本会計

<役員一覧>

令和5年度千葉東高等学校同窓会決算書		
損益計算書		
	科目	金額
収入	令和5年度卒業生入会金(306名)	1,070,450
	令和5年度同窓会維持基金	943,144
	令和5年度同窓会周年基金	940,000
	寄付金(昭和54卒同窓会より)	75,377
	寄付金	40,000
	収入合計	3,068,971
支出	会議費	13,680
	通信費	10,472
	総会費	76,230
	外注工賃(シャロンの花第27号)	93,035
	シャロンの花 郵送費(機サラト)	817,049
	通信OB会支援金	60,000
	奨学金	280,000
	学校支援金	140,000
	花籠代(マンドリン・吹奏楽・音楽部)	45,000
	卒業証書入	88,740
	同窓生支援金	30,000
	海外派遣支援金(豪州・米国)	100,000
	昭和58年卒懇親会準備金	150,000
	雑費(校長移動・花束・商品券)	10,000
	雑費(駐車場代)	300
	支出合計	1,914,506
	収支合計	1,154,465
その他収入	受取利息(預金1)(本会計)	60
	受取利息(預金2)(周年事業基金)	25
	受取利息(預金3)(基金繰入金会計)	52
	受取利息(預金4)(懇親会)	10
	その他収入 合計	147
	剰余金	1,154,612

資産管理表		
資産の部		
科目	期首(2023/04/01)	期末(2024/03/31)
現金	5,368	916
預金1(本会計)	8,261,026	8,514,626
預金2(周年事業基金)	3,014,976	3,955,001
預金3(基金繰入金会計)	2,149,241	2,149,293
預金4(懇親会)	764,117	729,504
合計	14,194,728	15,349,340
期末-期首		1,154,612

名誉会長	齋藤 則夫	学校長
役職	氏名	卒業年
会長	山中 操	昭和44年
	中村 千枝子	昭和44年
副会長	澤田 繁信	昭和46年
	小川 輝男	昭和50年
書記	市原 俊介	平成5年
会計	林 一己	昭和41年
	別府 健治	昭和50年
会計監査	小林 丈士	昭和47年
	石橋 康郎	昭和52年
事務局長	鈴木 英一	昭和46年
	戸塚 主税	昭和36年
	時田 拡央	昭和38年
	斉藤 武	昭和39年
	山田 和雄	昭和46年
	渡邊 茂通	昭和47年
	高橋 清英	昭和50年
	桃木 みず江	昭和51年
	望月 あけみ	昭和51年
	大木 正人	昭和51年
	大木 実	昭和53年
	上市 善章	昭和54年
	地崎 聡	昭和56年
	横山 創	昭和56年
	後藤 孝徳	平成2年
	原 慈妙子	平成22年
名誉顧問	永江 栄	昭和21年
	井戸川 浩	昭和34年

令和6年度総会

今年の総会では長年同窓会の書記を務めた小塚興作 書記（昭和34年卒）が勇退されました。また、新しい理事として、横山 創 理事（昭和56年卒）地崎 聡 理事（昭和56年卒）が加わりました。また、コロナ禍で中止になっていた60才になる歳の卒業生の懇親会も復活し、昭和58年卒150名と同窓会理事・学校関係者・一般学生50名が参加し、約200名の参加となりました。

した。
来年の総会・懇親会も昭和59年卒を中心に今年と同等の参加者が期待されています。
今後、多くの参加者を募っていききたいと思います。
(同窓会事務局)



同窓会会長 山中 操



平素は、千葉東高等学校同窓会の活動にご理解、ご協力頂きありがとうございます。

令和7年4月に創立85年目を迎えても伝統のある学校でございます。充実した学校生活を送って頂けるように開かれた学校づくり委員会を開催し、積極的

な意見交換を行っております。

歴史ある国際交流プログラムも昨年度より再開されました。

本校生徒は学習と部活動との両立も日々励んで

おり、優秀な成績をおさめております。これからも同窓会一員として支えていただければ幸いです。

同窓会を通じ親睦の輪をさらに広げ、縦と横の繋がりを作ることができる素晴らしい組織だと考えております。

同窓会員の皆様と協力し、より良い学校づくりのために活動を進めていきたいと思っております。引き続き応援やご協力をお願い致します。

(昭和44年卒 同窓会会長 山中操)

同窓会名誉会長 齋藤 則夫 (学校長)



本校同窓会長山中様におかれましては、旭日小綬章 ご受章、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。

同窓会会員の皆様におかれましては、日頃より母校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

ます。

この度、高梨校長の後任として、令和6年4月に着任いたしました齋藤と申します。創立84年を迎える伝統校に着任し、身が引き締まる思いです。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本校は「夢をかたちにできる学校」として、今年度から3学年全てが新たな学習指導要領のもと、主体的・対話的で深い学びの授業に教職員一同取り組んでおります。生徒たちは、これまでと変わらず前向きに学習や学校行事に取り組み、文武両道を目指して日々努力を重ねています。

部活動はどの部も活発で、今年度の加入率は106%を数えました。山岳部は2年ぶりに男女で全国高等学校総合体育大会登山競技に千葉県代表として出場しました。囲碁同好会と書道部の生徒も全国高等学校総合文化祭に県代表として出場す

るなど、素晴らしい成果を上げています。音楽部（合唱）は、地区大会を抜けて初めて国際声楽コンクール東京に出場し、関東大会を勝ち上がり、全国大会で4位という快挙を成し遂げました。競技かるた大会では、個人で優秀選手賞を受賞し、千葉県Aチームの一員として関東大会に出場して準優勝の成績を収め、全国大会出場を決めました。吹奏楽部も県予選を勝ち抜き、県本選大会に出場し、野球部は夏の県大会で久々に1回戦を勝ち上がるなど多くの部活動が躍進しています。

同窓会からは、関東大会以上の部活動支援金や「シャロンの花奨学金（今年度3名）」等のご支援をいただき、重ねて感謝申し上げます。皆様のご支援は生徒の励みになり、本校の活性化に大きく貢献しています。

本校では、生徒一人ひとりの主体性を大切にしながら、夢の実現に向けて教職員一同、尽力してまいります。今後とも、本校の教育活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、同窓会の益々のご発展をお祈りいたします。

(同窓会名誉会長 齋藤 則夫)

令和6年懇親会・2次会

令和6年5月18日(土)15時より三井ガーデンホテル千葉において、令和6年度千葉東高等学校同窓会懇親会が開催されました。同窓会会長をはじめ同窓会役員理事の方々、元校長先生や旧職員並びに現校長先生方等、そして何よりも今年度は昭和58年3月卒業の卒業生170名が一堂に集い、およそ220名規模の大懇親会となりました。千葉東高校では、毎年5月に同窓会総会とともに懇親会が開かれています。その懇親会の幹事は、60歳を迎える卒業生のなかから数名が幹事となり、その代の同級生や高校時代にお世話になった担任の先生方に声をかけ、参加を募り、懇親会を企画運営し、開催することが慣例として行われてきました。ところが令和2年から4年間は、新型コロナウイルス流行に伴い大規模な懇親会が開催出来ずにいました。令和5年5月のコロナ5類移行を受け、令和6年度より同窓会懇親会を以前の形に戻して開催しようと動き出し、我々昭和58年卒業の幹事の奮闘が始まりました。

令和5年10月西本君(幹事長、ラグビー部OB)より私(野球部OB)に連絡があり、松本君(水泳部OB)と3名で居酒屋にて顔合わせ(卒業以来の)をし、同窓会懇親会の企画がスタートしました。5年ぶりの開催ということで、我々には懇親会のイメージ(幹事が前年度の懇親会に参加して引き継いでいたらしい…)がなく、本当に手探り状態でのスタートでしたが、同じ学び舎で3年間ともに過ごした仲間という絆は強く、あっという間に幹事を引き受けてくれる同級生が30名増え、令和6年3月9日には幹事会と称して現在の千葉東高校へ視察(元教頭としての職権を使いました…)、ホテルとの打合せ、そして幹事全体での交流(という飲み会…)を経て、その後はこの時代SNSを活用することで参加人数も膨れ上がり、冒頭で述べたように盛大な懇親会を開催する運びとなりました。旧担任の先生方も4名参加頂きましたので、写真とともに紹介いたします。右上から

- 3年6組 時田和之先生
- 3年7組 本城一隆先生
- 3年8組 吉川 哲先生
- 3年9組 岩瀬博子先生

(文責：昭和58年卒業 奥田雅之)



希望の光の燈（音楽部）

音楽部の定演は3月26日。もうマスクはなく、入場制限もなく、歌う顔がありありと見える久々の定演だった。テーマは「燈」（ともしび）、皆の心に希望の光を灯す歌を、心を込めて届けよう、という意気込みがあった。

第1部はコンクール等で歌った各種合唱曲、第2部はコロナ禍で長らくできなかったミュージカル「アニー」、第3部は活気溢れるJポップ等。男子部員がやっと維持されている状態で、またも以前多かった無伴奏がなかったのが残念だが、言霊（ことだま）がその歌声に乗ってありありと伝わり、それが人の心を励まし、慰め、前を向く原動力になってくれていることは確かだった。

これまで様々な先の見えぬ重い制約に喘ぎ、こ

の一生一度の高校時代に抱いた希望で叶わなかったものも多かっただろう。だが彼らはアニーの如くその希望が叶う明日を信じ、校内各種行事や地域の様々な行事で地道にその活路を見出し、自らその希望の光を作り、様々な聴衆に灯し、また自らにも灯した。そしてその信じた明日は、確かにその日にやって来たのだった。

（平成5年卒 同窓会書記 市原俊介）



心躍るBon Voyage（吹奏楽部）

吹奏楽部定演は5月4日、テーマは「Bon Voyage」。

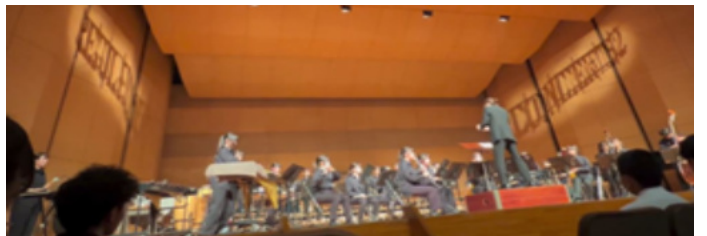
第1部は吹奏楽オリジナル曲。昔懐かしいリズム、喜びの音楽賛歌、日本の伝統美、旅の悲劇を描く。私は在校中の思い出を甦らせ、また幻となった3年前の定演にリベンジするOBもいて！？ここには各人の様々な思いが交錯したことだろう。

第2部はミュージカル「グレイテスト・ショーマン」を英語歌詞で上演。世界を席卷するショーを追求し旅に猛進するも、引き換えに失ったもの、帰るべき所の存在に気づき、出発点からやり直してそれが最高のショーになった、という物語を、吹奏楽の迫力の生音と確かな歌唱力で魅せる。

第3部はジャズ、ビッグバンドから段々人数が

増え、最後は振りをつけて見ても楽しくさせる。正にこの定演は、そして彼らの部活生活は心躍る「旅」だった。根差す場所あってこそ前に踏み出し冒険し、支え合い励まし合い、様々な苦難を乗り越える。そんな思い出を作り彼らはここから旅立ち、今後の人生を生きる。そして私も、かつて同じ旅をした一人なのだ。

（平成5年卒 同窓会書記 市原俊介）



渾身の首振り！（マンドリン楽部）

マンドリン楽部定演は5月11日、コロナ禍から解放されて益々弾けた姿を見せてくれた。

第1部は最もマンドリンオーケストラらしいオリジナル・クラシカルなステージだが、多彩なソロ演奏が同部の個性と感させた。第2部はギターアンサンブルで、多彩な奏法も交えて堪能する。

第3部は一年生の劇「魔女の宅急便」を交えたステージで、その劇と演奏曲との境目が意識しなくなる程溶け込む。第4部は伝承曲「ひき潮」やその他ポップスやロックのステージで、アイコンタクトだけでなく激しく首を振ってリズムに乗る。何故彼らは首を振るのか？恐らく、その音を奏でたその時空間を余すことなく感じるためだろう。

何と3年生は退部者ゼロという。希望のソロパートに入れなくても、長い通学距離で朝練に参加し両親の手を煩わせても、投げ出さず励まし合い、全身全霊で部の音や絆を感じて作り確かめ合い、それがこの渾身の定演として出来上がった。その日々が終わると、どんな感覚なのだろう？

（平成5年卒 同窓会書記 市原俊介）



リアル追求の精神（2024年度東雲祭参観報告）

今年の東雲祭は6月29日（土）と30日（日）の2日間に開催され、私は2日とも参観した。コロナ禍以降初めて自由に来場者を受け入れた昨年の大盛況を思い出させる位に、開場30分程前から校門前には長蛇の列。大半の生徒はマスクを外して素顔を見せ、体育館での3年生ミュージカルの整理券の争奪戦は激しく、整理券を取れなかった人は次の開演まで1時間近くも待ち続けたりする。

私は今回もまた3年生ミュージカルを多数観た。その中で特に印象に残ったのは、ラ・ラ・ランドでピアノ、リメンバー・ミーでギターの生演奏を、元々楽器演奏経験があまりなかった生徒がごちないながら奮闘してやっていたこと。また各文化系部活の発表や展示も、毎年のようにクオリティーが向上しているのが感じられた。

一体現在の東高生達は、東雲祭で何を追求しているのだろうか？それは恐らく、自分の体と心で感じるリアルではないだろうか。日頃から勉学を本業とする彼らにとって、「もしも〇〇ならば」と

いうバーチャルが目の前にリアルに来て、それをひっくるめながら普段感じるリアルの裏に隠れた真実を、普段発見していない自分や周囲の人を発見する。故に彼らはこの場でリアルを追求して感動を与えるのだ。それはひとえに普段の勉学の厳しさ、コロナ禍でリアルを奪われバーチャルでお茶を濁されたことへの反動かもしれないが。

そしてこのリアルを追求した2日間を終えた彼らは、再び全くのリアルな日常に戻ったようだ。

（平成5年卒 同窓会書記 市原俊介）



国際交流豪州派遣報告

令和6年3月17日から26日の10日間、千葉由美子教諭との引率で、生徒24名（男子5名、女子19名）が豪州高校交流プログラムに参加しました。初日にシドニー大学を見学し、その後はホームステイをしながらパシフィックヒルズクリスチャン高校に通いました。英会話の授業ではオーストラリアの文化や地理・歴史について学び、現地校の授業にも案内役の高校生（パディ）と一緒に参加しました。日本の高校との様々な違いに生徒たちは驚いたり感心したりしていました。高校で過ごす最終日には、高等部・中等部の生徒たちに向けて日本文化紹介のプレゼンテーションを行い、好評を博しました。

ホームステイ終了後は、ガイドの案内でシドニー市内の名所を巡り、自然に触れたり歴史を学んだりしました。現地校の先生方や生徒たち、ホストファミリーの方々、英会話の先生、現地ガイド、会う人会う人、皆さん親切な良い人ばかりで、生徒たちは本当に楽しく有意義な日々を過ごすことができました。生徒たちは高い語学力と抜群のコミュニケーション能力を発揮し、行く先々でお褒めの言葉をいただきました。

同窓会の皆様におかれましては、日頃より多大な支援を賜り、感謝申し上げます。豪州研修に参加した生徒たちは、そこで得た貴重な経験を糧に

現在もそれぞれの目標に向かって努力を重ねているところです。今後とも千葉東高校の職員が一丸となって次世代を生きる力を育て参りたいと存じます。

（引率教諭 出野佑樹）



国際交流米国派遣報告

令和6年3月14日（木）から3月25日（月）の日程で、米国高校交流プログラムを実施しました。平成31年3月以来、実に5年ぶりの再開となりました。英語科の浅野洋之教諭とともに、生徒16名（男子9名、女子7名）を引率しました。

主な研修内容は校内での事前研修及び現地での3日間のニューヨーク観光、1人1家庭のホームステイ、クラークストン高校（付属小・中）での日本文化についてのプレゼンテーションと現地での授業参加でした。生徒たちは、異国の地で英語によるコミュニケーション能力を養うとともに、現地の高校との交流を通して、異文化理解を深めることができました。

クラークストン高校でのホームステイが始まった当初は、英語を間違えてしまうことに恐怖心を抱いていたり、現地のホストファミリーと意思疎通が取れずに、落ち込んだりする生徒も少なくありませんでした。しかし、悩んでいることも束の間で、アメリカ人のフレンドリーな性格に、次第に緊張の糸もほぐれ、すぐに打ち解けている様子が生徒の間に見受けられました。

また、現地校で行ったプレゼンテーションでは、生徒は日本の文化・伝統・遊びなどを紹介しましたが、回数を重ねるごとに自分達で改善点を洗い出し、次のプレゼンテーションに反映させていた点は見事でした。現地校の生徒達は積極的に参加してくれて、どのプレゼンテーションもクラークストン生徒たちに好評でした。休み時間には、現地校生徒に自ら話しかけて交友関係を広げたり、先生に質問したり、主体的に行動する姿勢も印象的でした。

本研修の交流を通じて築き上げた人間関係や価値観は本校生徒にとってまったく新しいものでした。例えば、ある生徒はこれまで学問としてしか捉えていなかった英語を、コミュニケーションのためのツールとして捉え始めました。また時には、困難や葛藤もありましたが、それらも含めて大変

貴重な経験となったと思います。生徒は帰国後も、



英語のみならず、幅広い教養を身に着けるべく、日々学習に励んでいるところです。

同窓会のみなさまにおかれましては、日頃より、多大なる御支援を賜り、感謝申し上げます。今後とも、千葉東高校の国際教育事業発展への御協力をお願い申し上げます。

（引率教諭 渡邊奏）

〇囲碁同好会①

囲碁同好会は現在会員14名（3年生4名、2年生2名、1年生8名）で、同好会長の中野孝太郎を中心として活動しています。活動場所は地学講義室で、毎週火・木曜日が活動日です。他に部活動をやっている会員がほとんどで、活動時間は限られています。3年前会員0からスタートして、現在同好会長の中野が入部して同級生を集め4名で現在の形になりました。全員囲碁を高校に入学するまでにしたことがなくルールも知りませんでした。それが前回報

告の通り、今年の1月に群馬県で行われた関東大会に男子団体戦・個人戦で出場しました。結果は全国大会には進めませんでしたが大いなる自信になり、新年度は1年生も多く加入してきました。そして目標としていた全国大会に向けて5月に行われた千葉県大会を迎えました。

結果、中野が千葉県団体代表チームの主将として8月4・5日に開催された、第48回全国高等学校総合文化祭囲碁部門に出場が決まりました。今回の

○囲碁同好会②

全国大会は千葉県でチームを作り、副将：私立渋谷幕張高校男子部員、三将：県立千葉高校女子部員の3人で岐阜県高山市飛騨世界文化センターに出場してきました。初日4試合・2日目2試合の計6試合を行い、Sum of Opponents' Scores等で最終的な順位を決定します。そして開催当日を迎えました。

1回戦山口県は優勢だった碁を運なく落とし1勝2敗で惜敗しました。ただ2回戦佐賀県は3勝して勝ち、3回戦大阪府は接戦で2勝1敗、4回戦地元岐阜県も2勝1敗で初日はトータル3勝1敗で何とか次の日に期待を残せました。2日目5回戦宮崎県を2勝1敗、最終戦広島県を1勝1敗で最後まで大熱戦でしたが勝ちきり、最終成績は5勝1敗で全体の5位入賞となりました。

この大会で3年生は最後の囲碁の公式戦となり、千葉県の主将としてその責務を全うし最高の成績を残せて充実した3年間の活動でした。これからの活動は新チームになり1・2年生一丸となって、まず

は次回茨城で開催される関東大会目指して新たな1歩を踏み出したい。そして今後も毎年新入会員を確保し後輩の指導に熱心に取り組み、囲碁の強豪校「千葉東」という地位を確立させたいです。更に千葉東だけでなく高校囲碁界全体を盛り上げ、全国の競技人口が少しでも増えるように皆様の応援をよろしくお願い致します。

囲碁同好会顧問（藤浪 明博）



山岳部（女子）

山岳部は8月2日から6日にかけて福岡県で行われた全国高校総体（インターハイ）に男女ともに出場しました。結果は男子が12位、女子が9位となり、残念ながら入賞を果たすことはできませんでした。今回、大会の概要をご報告したいと思います。

今年度の大会は福岡県と大分県の県境にある英彦山山系で行われました。英彦山は古くから信仰の山として知られる自然豊かな山域で多くの方々が訪れますが、修験道の山としても有名で、コースは険しく厳しい山域でもあります。

コースは全部で3コースで争われました。一つ目は英彦山の西方山麓を周回した後に、メインの参道の石段から中岳（1188m）頂上の上宮を通り、北岳に縦走して急斜面を下りる中岳コース。2つ目は東方山麓の深い谷から南岳（1199.5m）に一気に登り、岩場の急な稜線を通過した後、メインの参道に戻る南岳コース。3つ目は西方山麓から南下して岳滅鬼山（1036.7m）に登り、長い縦走路を歩き釈迦ヶ岳から下山口を下る岳滅鬼山コースです。どのコースも厳しい急登や岩場・鎖場の通過があり、また足もとが滑りやすい登山道も連続するなど、高度な技術力と強靱な体力が求められるコースでした。

今年は例年以上に暑さが厳しく、途中で動けなくなり支援の自衛隊の隊員に背負われる学校が複数出ました。またテント場の気温上昇を受けて、

3日目は急遽、体育館での宿泊になるなど日程の変更も続きました。監督である私達も、監督がリタイヤすると学校もリタイヤ扱いになってしまうため、自分の体調に注意しながらの登山となりました。

こうした中、選手達は重いメインザックの背負い、審査員の厳しい審査を受けながらの登山となりましたが、男女とも3日間の登山競技を無事に歩き切りました。歩行技術や読図の審査においては満点をとるなど、登山技術に関しては日頃の練習の成果を発揮することができました。最終結果は満足のいくものではありませんでしたでしたが、この悔しさを今後の成長の糧にしたいと思っています。

今回の大会出場に際し、多くの生徒・先生方や保護者・同窓会の皆様に多くのご支援と応援をいただきました。本当にありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

（山岳部顧問
眞田 武彦）



書道部

書道部の佐瀬愛奈さん（3年4組）が、8月1日から3日まで、岐阜県で行われた第48回全国高等学校総合文化祭書道部門に出場しました。

昨年の11月に開催された千葉県高等学校総合文化祭において、審査の結果千葉県代表に内定してから、約5か月かけて完成させた、縦234cm×横53cmの大作を出品しました。

出品作は、中国の明末から清初にかけて活躍した書家、王鐸（1592～1652）の書いた長条幅作品を臨書したものです。行書と草書を織り交ぜ、変化多彩に連綿（文字と文字がつながること）していくこの作品は、難易度が高く、完成に至るまでには大変な苦勞と努力がありました。

今大会の書道部門は、下呂温泉で有名な、下呂市の下呂交流会館で行われました。各都道府県から厳正な審査を経て選抜された約300展の作品が展示され、会場に一步足を踏み入れただけで、それぞれの力作から伝わってくる熱気のようなものに圧倒されました。

会場では、作品を鑑賞するだけでなく、岐阜県の生徒実行委員のみなさんによる様々な企画が用意されていました。まず、交流会では、全国から集まった高校生たちとグループをつくり、美濃和紙を使った栞と、東濃檜を使った筆筒（筆立て）に、筆で好きな言葉を書き、栞の一枚を友達と交換しました。また、鑑賞会では、自分の作品の制作意

図をグループ内で発表し合ったり、質問し合ったりしました。

これらの体験は、全国大会に出場しなければ味わうことのできない、たいへん貴重な経験になりました。

全国から集まった作品はどれもレベルが高く、惜しくも入賞することはできませんでした。しかし、書道だけでなく、剣道や茶道など、「道」のつくものは一生ものですから、ここが最終目標ではありません。今回の貴重な経験を、今後の人生や、書の道に生かしてほしいと思います。

そして、書道部としては、来年の香川大会への出場を目指し、現在練習に励んでいます。

（書道部顧問 時田 博之）



陸上競技部（令和5年度 関東高等学校陸上競技大会出場報告）

陸上競技部は、各自の目標を定め日々の練習に臨んでいます。その中で自分の記録を伸ばしていくことと、千葉県大会、関東大会、全国総体での活躍を目指し頑張っています。

今年度は、3年生の高橋日和梨さんが千葉県高等学校陸上競技大会、女子800mで第2位に入賞し、6月14日から17日に東京の駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場で行われた関東高等学校陸上競技大会に出場しました。

この大会は全国高校総体（インターハイ）の出場をかけて行われる大会です。千葉県は南関東地区なので、東京・神奈川・山梨・千葉の各県6位入賞者24名で競い、6位以内になればインターハイに出場できます。

800mは予選3組で行われ、各組上位2名とそれ以外のタイム上位者2名の8名が決勝に進み1位から8位が決まります。

高橋さんは予選の第2組に出場し、2分15秒99で5着になり残念ながら、決勝レースには進

めませんでした。この大会の2分15秒99は高橋さんの自己ベスト記録だったので、持っている力はしっかり出し切るレースでした。大きな大会で自分の実力を出し切ることはむずかしいことなので本人にとっても悔いのない試合だったと思います。

今回、関東大会に出場できたのは高橋さん一人でしたが、この成果は陸上競技部全員の力で勝ち得たものでもあったと考えています。

これからも、陸上部全員で競技力の向上を目指し頑張っていきますので応援よろしくお願いします。

陸上競技部顧問
（坪井 健司）



昭和50年卒50周年同窓会

昭和50年卒50周年同窓会が、令和5年6月22日（土曜日）に幕張のホテルスプリングス幕張で開催されました。当日は総勢150名の同窓生と5名の恩師の先生が参加しました。

元生徒会長の高橋 清英さんの発案によって50周年を実施しようということになりました。

会は司会の金親さんの挨拶から始まり、生徒会長の高橋さんの挨拶があり、各先生の挨拶になりました。乾杯の後、懇親会が開催されました。

懇親会では、昨年の2月に国技館で開催された第九の演奏会に参加されたメンバーによる「歓喜の歌」の一部が披露されました。

2次会は場所をホテルの別の建物に移動して行いました。最初は1次会で帰る予定の人も多数2次会にも参加しました。とても有意義な時間でした。次回は70才の時に同窓会を行います。それまで「みんな元気でいましょう。」という話になりました。

（文責 昭和50年卒 別府 健治）



2024年「漕」書展開催される

2024漕書展が10月25日～30日までギャラリー古島にて開催されました。大字・小字により、漢字・かな・詩文・篆刻等多種多様にわたり、さらに陶器に蒔絵風による作品が、出品者それぞれ4～5点を「自分の世界」として出品いたしました。

又、今回は「板に書く」を共通課題とし、それを入口近くに並べてみました。

今回もチャリティとしてカレンダーを作成し、売上げを赤十字社に寄付しました。

多くの方々にご来場いただき、盛会に終了しました。来年もよろしくお願いいたします。

（文責 昭和41年卒 林 一己）



白井 石井 中村
湯浅 林 林（破）

千葉県立千葉東高等学校バスケットボール部OB・OG会総会



令和6年9月7日（土）、京成ホテルミラマレにて、バスケットボール部OB OG会総会が開催されました。本年は、バスケットボール部顧問としてご指導くださった佐藤昭勝先生、西村ひさし先生に加え、現在の顧問を務めておられる白水先生をお招きし、新たに初参加される1980年代に卒業された方々も加わり総勢81人が集いました。



＜広瀬会長の挨拶＞

広瀬会長のあいさつでは、歴代OB OG会幹事の諸先輩の苦勞した様子の紹介とともに、本日の盛会に関して会員の方々への感謝の気持ちを伝え、特に西村先生の時代の卒業生の参加に関して、新たな組織の拡大・成長の喜びの言葉がありました。



＜佐藤先生のお言葉＞

は、教え子の子どもさんも教え子になったエピソード



＜西村先生のお言葉＞

その代の印象に残る試合や大会、今だから話せるちょっとした秘密話があり、聞いている会員もつい笑ってしまう場面や、自分も同じような感じだったなあとうなずく姿がありました。この総会で初めて会うOB OGも会が進むにつれ、うちとけて隣に座って話し込む方々も居ました。



＜現顧問の白水先生＞

会の終わりには、自分たちが現役のころに受けた恩返しにでもなれば幸いですと広瀬会長から現顧問の白水先生に支援金が手渡されました。今回初めて会員の方々の前で、恒例になりつつある「支援金贈呈」が行われ会を閉じました。来年も総会は8月に開催予定です。幹事一同来年の総会に向けて更に努力いたしますのでご協力お願い申し上げます。

（文責 昭和52年卒 山岸 彰）

野球部OB会 令和6年 報告

○新年会 1月27日(土) 18:00～

於 京成ホテル・ミラマーレ

元監督・高野連会長も務められた濱井先生、飯生先生、中島先生、保護者会から竹松会長、高橋さんの出席をいただき、藤代会長以下15名の参加で新年会が開催されました。

藤代会長の挨拶のあと、飯生先生の挨拶の中で、昨年の新人戦のあと、飯生先生が部長に、中島先生が監督に交代されたことが告げられ、中島新監督からも挨拶をいただきました。

そのあと安西理事長(H3卒)の乾杯で歓談となり、和気藹々の中で開催されました。歓談の途中で、本会顧問の関先輩(S37卒)の挨拶、元監督ということで高橋も挨拶させていただき、さらに出席した会員の近況報告もありました。所用のため、遅れて来られた濱井元監督からも挨拶をいただきました。

今回は大沼清仁さん(S55卒)、横須賀久明さん(H9卒)、染谷航太さん(H26卒)、石黒大喜さん(H26卒)、の初参加もありました。特に染谷さん、石黒さんは、高橋が突然の異動になり、最後の夏の大会をともに戦うことができず、悔しい思いをした学年ですので、とても嬉しく思いました。いつまでも話が尽きませんでしたが、最後に宮川名誉会長の(S39年)の挨拶と一本締めで閉会となりました。先輩・後輩の関係はありますが、決して堅苦しい会ではありませんので、是非とも若い世代の方の参加をお願いいたします。

なお、OB連合会主催のゴルフ大会・野球大会が開催されます。どちらも若い世代の方の参加が不可欠です。こちらも若い世代の方のご参加をお願いします。

○総会 5月25日(土) 18:00～

於 京成ホテル・ミラマーレ

今回は藤代会長のお身内にご不幸があったとのことで欠席され、山本副会長(H3卒)他、9名の参加で開催しました。今回は役員の欠席も多く、今後のOB会の運営も含めて検討していかなければならないという参加者全員の思いでした。総会は例年通り、昨年度の事業報告・会計決算報告、今年度の事業案・予算案の審議をし、承認していただきました。

今後の活動の中で、現役選手への金銭的な支援、OB野球大会の開催時期については是非、検討してほしいとの要望もありました。

・懇親会

総会に引き続いて懇親会も18:30から

開催されました。懇親会には中島監督(部長も兼任されるとのこと)、父母会から竹松会長・石井副会長にもご出席いただき、OB会からは山本副会長の他、9名が出席しました。山本副会長、中島監督、竹松保護者会会長からご挨拶をいただき、関先輩(S37年)の乾杯で和やかに懇親会が進みました。

宮川名誉会長(S39卒)の締めのご挨拶まで楽しいひとときを過ごすことができました。各学年の理事さんも含めて、多くの方々の出席を切に願います。

また、OBゴルフ大会、OB野球大会へも多くの皆様のご参加をお願いいたします。ゴルフ大会につきましては、OB会の会員の中でどれくらいの方々がゴルフをされているかを確認する意味も含めて、OB会独自のゴルフ大会開催も検討しています。

○第45回千葉県高校野球OB野球大会

今年度のOB野球大会1回戦は7月28日(日)の成田高校のグラウンド・第1試合で成田高校と対戦しました。(2年連続で前年度優勝校との対戦となりました。)今年は13名というぎりぎりの人数で、結果は0-26、1回戦敗退でした。

今回、高橋も参加予定でしたが、不覚にも大会直前に体調を崩し、不参加となってしまいました。参加して下さった皆様にお詫びいたします。

OB会の会員の皆様をはじめ、同窓生の皆様のご健康とご多幸、そして益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

<野球部OB会 訃報>

令和6年6月10日 伊東 哲氏 昭和41年卒

令和6年12月9日 鈴木 利雄氏 昭和45年卒

以上 長年OB会の活動にご尽力くださったお二人が、ご逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り致します。

(文責 昭和51年卒 高橋敏行)



進路指導について①

2023(令和5)年度卒業生 進路概況 & 2024(令和6)年度入試 合格状況

※2024(令和6)年4月5日現在で集約したもの。

2024(令和6)年4月5日 進路指導部

1. 進路概況(実数)

卒業年度	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)
卒業数	365	365	356	359	358	317	315	306
進学	280	254	273	273	290	264	266	248
内								
国公立大	96	101	104	91	120	98	108	84
私立大	183	149	166	179	167	165	155	164
準大学	1	2	1	1	0	0	1	0
短大	0	0	1	1	0	0	0	0
専門・各種	0	2	1	1	3	1	2	0
就職・公務員	0	1	0	2	0	0	1	0
その他	85	110	83	84	68	53	48	58
現役進路決定率	77%	70%	77%	77%	81%	83%	85%	81%
内								
文系	81%	75%	80%	84%	89%	87%	90%	87%
理系	72%	65%	73%	69%	74%	80%	80%	76%

2. 合格状況(延べ数)

入試年度	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)
新卒・既卒・計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計
国公立大	106 56 162	109 33 142	112 47 159	108 33 141	132 24 156	104 32 136	116 17 133	88 20 108
私立大	930 340 1270	677 248 925	768 347 1115	864 285 1149	1009 307 1316	1024 238 1262	1145 170 1315	993 185 1178
準大学	3 3 6	5 1 6	3 1 3	1 1 1	5 1 6	4 1 5	2 2 2	1 1 2
短大	0 0 0	2 2 2	1 1 1	1 1 1	1 1 1	1 1 1	0 0 0	0 0 0
専門・各種	2 1 3	2 1 2	1 2 2	2 7 1	8 1 1	1 2 1	3 3 1	0 0 0
就職・公務員	0 1 0	1 1 1	0 2 2	2 2 2	0 0 0	0 1 1	1 1 1	0 0 0

3. 大学別合格状況(一部抜粋、延べ数)

入試年度	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)
新卒・既卒・計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計
難関国立大	1 3 4	1 2 3	2 2 2	1 1 1	3 2 5	2 2 2	1 1 1	0 0 0
東京大	1 3 4	1 2 3	2 2 2	1 1 1	3 2 5	2 2 2	1 1 1	0 0 0
京都大	2 2 4	4 2 6	5 3 8	1 3 4	3 7 3	7 1 7	1 2 1	3 3 3
北海道大	5 5 10	2 1 3	10 3 13	6 3 9	9 1 10	9 4 13	7 2 9	5 2 7
東北大	2 1 3	1 1 1	1 1 1	0 1 0	1 1 1	1 1 1	0 2 0	2 2 2
名古屋大	3 3 3	2 2 4	2 2 2	1 1 1	0 0 0	0 0 0	0 1 0	1 1 1
大阪大	1 1 2	0 1 1	1 1 1	0 0 0	0 0 0	0 1 1	1 3 3	3 3 3
九州大	4 5 9	3 2 5	3 2 5	2 1 3	4 4 4	5 5 5	1 6 2	2 4 4
東京工業大	4 1 5	0 3 3	3 2 2	2 6 1	7 3 1	4 3 3	3 3 1	4 4 4
一橋大	1 1 2	0 1 1	1 1 1	0 1 1	1 1 1	0 0 0	0 1 1	1 1 1
神戸大	20 22 42	13 9 22	26 11 37	12 9 21	28 6 34	25 9 34	17 4 21	18 7 25
千葉大	48 13 61	45 10 55	43 10 53	56 8 64	67 8 75	41 6 47	60 8 68	41 3 44
筑波大	10 3 13	6 2 8	5 1 6	9 9 9	6 6 6	3 2 5	8 1 9	9 9 9
東京外国語大	3 1 4	1 1 1	2 2 2	4 4 4	3 3 3	5 5 5	0 0 0	1 1 1
お茶の水女子大	1 1 1	2 2 2	1 2 3	2 1 3	1 1 2	3 3 3	5 5 5	1 1 1
横浜国立大	6 6 6	4 1 5	3 2 5	3 2 5	3 1 4	5 5 5	2 2 2	4 2 6

入試年度	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)
新卒・既卒・計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計
難関私大	54 21 75	33 16 49	26 20 46	20 14 34	53 24 77	39 11 50	44 9 53	46 11 57
早稲田大	17 16 33	6 5 11	18 11 29	13 6 19	28 15 43	25 12 37	20 9 29	15 5 20
慶應義塾大	35 13 48	16 10 26	16 2 18	29 3 32	35 3 38	31 2 33	38 4 42	18 3 21
上智大	65 52 117	37 18 55	41 21 62	43 25 68	67 25 92	71 26 97	93 15 108	71 30 101
東京理科大	171 102 273	92 49 141	111 74 185	105 48 153	183 67 250	166 51 217	195 37 232	150 49 199

入試年度	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)
新卒・既卒・計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計	新卒 既卒 計
GARCH大	28 3 31	7 1 8	15 4 19	18 2 20	12 8 20	22 1 23	27 2 29	23 3 26
学習院大	90 17 107	68 21 89	65 24 89	70 29 99	97 27 124	119 20 139	100 26 126	98 12 110
明治大	29 6 35	13 3 16	23 4 27	24 8 32	25 5 30	29 2 31	28 2 30	29 4 33
青山学院大	59 10 69	58 13 71	44 16 60	58 10 68	63 8 71	67 7 74	83 4 87	72 6 78
立教大	26 18 44	24 9 33	26 29 55	34 11 45	61 8 69	42 14 56	63 9 72	55 7 62
中央大	91 27 118	53 19 72	71 27 98	58 24 82	65 28 93	80 16 96	116 9 125	89 17 106
法政大	323 81 404	223 66 289	244 104 348	262 84 346	323 84 407	359 60 419	417 52 469	366 49 415

進路指導について②

4. 医学部医学科合格状況(延べ数)

入 試 年 度	2017(H29)			2018(H30)			2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			2023(R5)			2024(R6)		
新卒・既卒・計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計
国公立大	2	5	7	2		2	1	4	5	1	1	2	2	2	4	1	4	5			0		1	1
準大学(防医大)	1	1	2			0			0			0		1	1			1			0			0
私立大		14	14	2	4	6	2	3	5	2	5	7	1	8	9	1	9	10		5	5		7	7
計	3	20	23	4	4	8	3	7	10	3	6	9	3	11	14	3	13	16	0	5	5	0	8	8

種別	入試年度	2014(H26)		2015(H27)		2016(H28)		2017(H29)		2018(H30)		2019(H31)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)		2023(R5)		2024(R6)	
	現浪	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
国公立大	旭川医科大	1				1								1									1
	弘前大		1																				
	秋田大							1	1										1				
	山形大				1		1																
	筑波大							1		1													
	群馬大					1						1							1				
	千葉大		2		1				1	1						1	1	1	1				
	新潟大		1		1																		
	金沢大															1	1						
	福井大				1																		
	山梨大											1											
	信州大		1					1															
	岐阜大											1						1					
	滋賀医科大				1																		
	大阪大											1											
	高知大													1									
	九州大								1														
	福島県立医科大								1			1											
準大学	防衛医科大学校			1			1	1	1								1	1					
私立大	東北医科薬科大								1					1									1
	国際医療福祉大								3	1		1		1	1	2		2		1			
	獨協医科大									1						1							
	埼玉医科大								1					1									
	杏林大				1				1		1								3		1		
	順天堂大				2				1	1				1			1	1					1
	昭和大		2		1								1										1
	帝京大						2					1											
	東海大								1														
	東京医科大								1								1		1		1		1
	東京慈恵会医科大												1										
	東京女子医科大						1				1		1		1								
	東邦大								1								1				1		1
	日本医科大				1		1		1								1						
	日本大		1						2														
	北里大				2					1									1				
	聖マリアンナ医科大								1		1												1
	愛知医科大			1																	1		
	藤田医科大																	1					
	関西医科大																1						
	近畿大																		1				
	産業医科大						1								1								1

山中 操氏 旭日小綬章受章祝賀会

この度 千葉東高等学校同窓会 会長で元千葉県議会議員 山中 操氏が令和6年春の叙勲に際して旭日小綬章(きょくじつしょうじゅしょう)受章の荣誉に浴されました。

会長は五期20年 千葉県議会議員として、また第74代千葉県議会議員としての要職も務められ千葉県勢発展に寄与されました。

特に中小企業支援のみならず、住宅問題、青少年健全育成には優れた実行力と卓越した指導力で献身的な取り組みをされてきました。こうした功績が認められ叙勲の栄に輝かれたことはとても名誉なことでもあります。

令和6年11月2日に京成ホテルミラマールにて祝賀会が開催されました。

当日は、熊谷俊人千葉県知事、神谷俊一千葉市長、石井準一参議院議員、猪口邦子参議院議員、各不動産会社社長などが参加しました。

同窓会からは発起人である澤田副会長、鈴木事務局長、大木正人理事(千葉市副市長)、などが参加しました。

会は、発起人からの挨拶に始まり、各種不動産団体の挨拶、来賓の議員の挨拶、と続き、熊谷千葉県知事、神谷千葉市長の挨拶がありました。

乾杯後は、日本舞踊の舞があり、アトラクションとしてバラクーダー、安倍理津子の公演がありました。(同窓会事務局)



不動産のことなら
建物 土地 お気軽に相談ください!
買取強化実施中!
千葉県内各地(10000) 千葉県内各地(10000)
〒264-3024 千葉県市原市高品町1085-1本館(千葉県高品)
043-232-0006 FAX 043-232-0696

ギャレックスチバ株式会社
代表取締役 澤田繁信(昭46年卒)
千葉市中央区今井3-1-9
[TEL] 043-261-4528
[FAX] 043-265-5446
[mail] info@galaxchiba.jp
オリジナルマーキングは当社!!

JR京葉線 蘇我駅東口前
不動産のことならおまかせ!!
不動産の売買・仲介
おかげ様で
創業60年
おかげ様で
創業60年
三幸商事株式会社
[TEL] 043-263-3535 〒260-0842
FAX 043(265)4488 千葉市中央区南町2-17-11
http://www.sanko-shouji.co.jp

<同窓会からのお知らせ>

・基金の支払の方法について【ゆうちょの振替口座 00160-8-148932】
コンビニで支払いができる振込用紙をセットしました。金額は固定(4,000円)になりますが、郵便局でもコンビニでも同窓会への寄付金の支払いができます。同窓会の維持の為に皆様のご協力をよろしくお願いします。固定金額以外は、郵貯の振込用紙に記入して振込をお願いします。
(同窓会活動維持基金 1口2,000円 創立100周年記念90周年記念事業基金1口2,000円)

<編集後記>

今年の総会・懇親会は約200名の参加者がありました。来年も同等の参加者を期待しています。その為に昭和59年卒のメンバーが頑張っています。卒業して40年近く経過すると住所等が変更になり、だいたい半分ぐらいが住所不明者になってしまっています。そこでSNSを活用してフェイスブックやラインを使ったり、部活の横のつながり、中学時代の同級生などいろいろな手段で同級生を探しています。今後ともよろしくお願いします。

(編集委員)